

# 知財の広場

## 日本弁理士会の会員状況

日本弁理士会の発表資料（2023年12月31日現在）によると、全国の弁理士数は11,799人であり、ここ数年大きな変化はないようです。

弁理士業界を取り巻く現状と将来予測すると、減少するとの結果が出ているとのこと。背景には、人口減、高齢化もありますが、弁理士の志願者自体が減っていることが一因にあるようです。また、特許事務所所属の弁理士数が減っています。企業に所属の弁理士数は2,932人で全体の約25%となっており、若い弁理士が企業の知財部門を志望する傾向があり、世相を反映していると言えるようです。

一人弁理士の特許事務所数は3,745であり、全体の事務所割合からすれば約7割に相当します。尚、弁理士数が80人以上の大きな特許事務所は7つあり、その所属弁理士総数は686人です。

年齢層から見ると、50～55歳代の弁理士が2,171名で一番多く、30～40歳代の2.2倍となっており、将来は弁理士数が減ることが目に見えてきています。平均年齢は53.5歳で、最小年齢は23歳（4名）、最高年齢は104歳（1名）だそうで、びっくりします。

弁理士数の多い都道府県は、<1位：東京都、2位：大阪府、3位：神奈川県>です。地域別分布は、<関東：67%、関西：21%、東海：7%>で他の地域は0.4～1.5%台となっており、大都市圏に集中していることが分かります。

### ●関西地域状況

		人数	弁理士全体比(%)
関 西	滋賀県	87	0.7
	京都府	272	2.3
	大阪府	1,741	14.8
	兵庫県	309	2.6
	奈良県	51	0.4
	和歌山県	16	0.1
	合計	2,776	21.0
全体	11,799	100	

参考／日本弁理士会会員の分布状況

吉井映滋（知財ナビゲーター）